

環境に優しい行動を

〜こども環境教育出前講座〜

岩沼西小学校で、(一社)日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏を講師に、「こども環境教育出前講座」が行われました。

講座では、地球温暖化による海面上昇の影響で国土水没の危機にあるキリバスを例に環境保全の大切さを学びました。

オノ氏は「愛の反対は憎しみや恨みではなく、無知と無関心。一人ひとりが自分事として考えてほしい」と熱く語りかけました。

参加した児童は「小さなことでも大きなことにつながる事が分かった。何か行動できる人になりたい」と決意を示しました。



▲環境問題に対する意識を高めました

働きやすい社会にするために

〜いきいきキャリアアップ事業in岩沼〜

西コミュニティセンターで、「令和4年度いきいきキャリアアップ事業in岩沼 女性がキラキラ輝き、働くために」が開催され、22人が参加しました。

第一部では、(株)よつばの平間香織氏、(株)エフエムいわぬまの吉田愛子氏をゲストに、子育てをしながらの働き方のコツ、自分らしく働くためのコツをお話いただきました。

第二部では、参加者のこれまでのキャリア、これからのキャリアをワークショップで話し合いました。参加者たちは、終了後も名刺交換を積極的に行うなど、交流から新たな発見をしている様子でした。



▲(株)よつばの平間氏(中央)、(株)エフエムいわぬまの吉田氏(右)もワークショップに参加しました

今と昔を比べてみよう

〜昔の道具体験授業〜

市民図書館ふるさと展示室などで、市内の小学校3年生が「昔の道具体験授業」を受けました。

岩沼南小学校では87人が参加しました。

初めに職員から、いろいろな道具についてクイズ形式で説明があり、児童は元氣よく答えていました。その後、会場に置かれた昔の道具に実際に触れながら今の道具との違いを学んでいました。

児童は「ラントンが思っていたより軽かった」と話し、メンコやこまで実際に遊ぶ様子が見られました。



▲昔の実際の菓を手に取りながら学びました

泣き虫鬼を退治しよう

〜豆まき会〜

子育て支援センターで、2年ぶりに「豆まき会」が開催され、乳幼児親子18組38人が参加しました。

初めに童謡「鬼のパンツ」の曲に合わせて体を動かし、的当てゲームや大きな福笑いなどのコーナー遊びを楽しみました。

豆まきの時間になり赤鬼が登場すると、子どもたちは泣き出したり、驚いてお母さんにしがみついています。しかし、親子で一生命命に豆を投げ、無事鬼を退治しました。

参加した保護者は「季節の行事に参加できて楽しかった」「鬼の登場で泣いてしまったが、良い体験になった」と話しました。



▲頑張って豆を投げ、赤鬼を退治しました